



# 職員の思い

消防課長 田川善幸

## 救急車の適正利用を

この夏、道内では、熱中症で多くの方が救急搬送されましたが、皆さんは体調を崩されませんでしたか。

私の担当する消防課は火災や救急出動に備え、119番を受けてから、迅速に出動できるように車庫と隣合わせの事務室で仕事をしています。

迅速に出動するための工夫として、昔はすべり棒を使用して2階から1階に移動し出動していたことがありました。市民の方から「今もすべり棒を使っているのか」と質問を受けることがありますが、今ではすべり棒のことを知らない方が多いのではないのでしょうか。

実際に三笠市ですべり棒を使用していたのがいつ頃か調べてみましたが、昭和

37年に現在の市役所庁舎に併設されていた消防庁舎にはすべり棒が設置されていました。その後、49年に現消防庁舎が新築されましたが、そのときからすべり棒は設置されていなかったようです。

昔は全国の消防署ですべり棒が設置されていましたが、すべり棒が無くなった理由として、出動を急ぐあまりケガをすることが多くなったこと、庁舎新築時に車庫と事務室を隣り合わせにする工夫や緊急指令装置の導入で、職員への出動指令が迅速に行われるようになったことなど、安全面を重視した出動に変わったことが挙げられます。

私が子供の頃は、すべり棒をスルスルツと降り、防火服を着て消防車に乗り込んで出動していたのが当時の印象として残っていますが、今ではすべり棒が消防の象徴として思い描いていたことを懐かしく思います。

次に、救急車についてふれたいと思います。平成28年の三笠市の救急出動状況は、昭和40年の救急業務開始以来、出動件数が606件(前年比134件増加)と過去最高を記録し、搬送人員は574人と過去2番目の記録となりました。

救急車の利用は全国的にも増加し、平成28年は過去最高の621万件に達し、約5秒に1回の割合で救急車が出動している状況です。救急件数の増加は全国的な問題となっており、救急車の適正利用を呼び掛けているところです。

全国で実際にあった119番の例を紹介し「蚊に刺されてかゆい」「紙で指先を切った」「入院受診予定だから」「足をぶつけて打撲した」など、どれも救急車が必要ではないものです。当市では、このような救急車の利用はありませんが、入院を必要としない軽症者の搬送が約4割となっています。また、救急出動中に次の救急要請が重なる2次救急は平成28年では31件あり、この場合は予備の救急車で対応していますが増加傾向にある状況です。

救急件数が増加することで、緊急に救急車を必要としている方の対応が遅れる恐れがありますので、救急車の正しい利用について皆さんのご協力をお願いいたします。我慢をし過ぎて症状が悪化し、やむを得ず119番する方も少なくありませんので、早めに医療機関を受診してください。

最後になりますが、現在消防では10人の救急救命士が救命に携わり、日頃から北大病院の救急担当医師から病院実習や研修会を通じて救急活動のレベルアップを図っています。団塊世代の方が75歳を迎えるときには救急件数が増加すると言われるので、三笠市の将来に向け今以上に救急活動の高度化を目指し、皆さんから信頼される救急隊員の育成に努めていきたいと考えています。

## 平成30年度 三笠市職員募集

次の日程で採用試験を行います。

詳しい内容(職種・募集人員・申込方法など)は、市ホームページまたは直接お問い合わせください。

【第1次試験日】10月15日(日)

【試験会場】市民会館

【問合せ先】総務課職員係 ☎ 3184

## 農業委員の決定

農業委員の任期満了に伴い、7月20日から新制度による新たな体制で農業委員会がスタートしました。

【任期】平成29年7月20日から32年7月19日までの3年間



前列左から、江川公人委員(大里)、清水隆徳委員(岡山)、澤田益治会長(菅野)、松本勇吉会長職務代理者(いちぎしり)、嘉屋忠幸委員(岡山)  
後列左から、山崎正広委員(菅野)、内田克広委員(若草町)、野見山朋秀委員(達布)、安藤俊秀委員(岡山)、谷口護委員(岡山)

【問合せ先】農業委員会事務局 ☎ 3196



# 三笠高校情報

【問合先】三笠高校事務係

☎④2200

9月16日(土)

## 1日レストランを開催

三笠高校生1日レストランを開催します。生徒が日ごろの実習で磨いた腕をふるい、おいしい食事とお菓子で皆さんをお待ちしています。

なお、売り切れの際はご了承ください。

### 【日時】

12:00～13:30…受付・食券販売

12:30～14:00…弁当・菓子営業

【場所】三笠高校

### 【メニュー】

▶三笠高校生特製弁当(ミニデザート付)

…500円(持ち帰り不可)

▶特選焼き菓子詰め合わせ…500円(持ち帰り可)

▶パン・焼き菓子詰め合わせ…500円(持ち帰り可)



### ●三笠高校製菓部のお店「シェリー」

【日時】9月3日・24日/日曜日・午前10時～完売まで

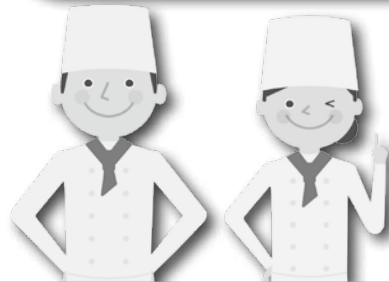
【場所】旧ラフォレスカ味菜(幸町20-6)

### ●高校生食堂「まごころきっちゃん」

【日時】9月3日・24日/日曜日・午前11時

～午後2時(ラストオーダー午後1時30分)

【場所】まんぷく食堂(幸町6-11)



皆さんぜひ  
お越しください

## 食のまちづくり基本条例(素案)に対する意見募集

市では、三笠市の歴史や特色・地域資源を生かし、食をまちづくりの中心に据える基本理念などを定めた「三笠市食のまちづくり基本条例」の制定を目指しています。このたび「三笠市食のまちづくり基本条例」の素案をまとめましたので、市民の皆さんから意見を募集します。

### 【制定理由】

三笠市は、明治15年の空知集治監開設以降、先人たちの開拓精神により「市来知もの」として品質の高い野菜を札幌などの都市部に安定的に供給してきました。多くの道民の食卓を豊かにし、健康と体力づくりに寄与し、北海道の食に貢献してきた誇りあるまちであることに鑑み、市民の皆さんや関係団体などと協働のもと、食のまちづくりに取り組み「誰もが暮らしてみたい田園産業都市の構築」と「日本一安心して誰もが住み続けたいまち」を実現するため条例を策定します。

### 【条例の位置付け】

三笠市における食に関連する施策を一体的かつ総合的に進めるため、理念および施策などについて定め、行政運営の基本概念を条例として位置付けます。

### 【条例の構成】

前文から始まり、11条の項目から成り立っています。基本理念や市民の皆さん、関係団体などの役割のほか、食のまちづくりを推進するための基本的施策などを規定しています。

【閲覧場所・方法】企画調整課、市民会館、地区市民センターおよび多目的研修センター、市ホーム

ページ

【募集期間】9月4日(月)～25日(月)(当日必着)

【提出方法】氏名・住所・意見を記入し、郵送、FAX、メールまたは直接提出してください。閲覧場所には、提出用のボックスを用意しています。(用紙の指定はありません)

【提出・問合先】企画調整課企画係 ☎②3182 / FAX②78800 / メール kikaku@city.mikasa.hokkaido.jp

## 就業構造基本調査にご協力ください

総務省統計局では、10月1日現在で就業構造基本調査を実施します。

この調査は、国民の普段の就業・不就業の状態を詳細に把握し、雇用政策をはじめ経済政策などに必要な基礎資料を得ることを目的に実施します。調査する地域は全国から無作為に選ばれ、三笠市は次の地域が調査対象となりました。世帯確認のため、9月以降調査員が調査世帯に伺いますので、調査の趣旨をご理解いただき、調査票への記入をお願いします。

就業構造基本調査により集められた情報は、「統計法」という法律により厳重に保護されます。また、調査員がお伺いした場合は必ず「調査員証」を提示しますので、安心してお答えください。

【調査地域】榎町460番地の一部と、岡山54番地の一部

【問合先】企画調整課企画係 ☎②3182